開　催　実　施　要　項

1　大 会 名　　令和８年度　福岡県高等学校弓道競技新人大会
　　兼　第３４回　全九州高等学校弓道新人選手権大会福岡県予選会
　　兼　令和９年度　国スポ少年の部　１次記録会
2　主　　催　　福岡県高等学校体育連盟・福岡県教育委員会・福岡県弓道連盟
3　後　　援　　公益財団法人福岡県スポーツ協会
4　主　　管　　福岡県高等学校体育連盟弓道専門部

5　期　　日
（1）開会式　令和８年９月２６日（土）13 時 00 分
（2）競　技　令和８年９月２６日（土）13 時 30 分　予選（１立目）
　　９月２７日（日）　9 時 30 分　予選（２立目・３立目）
（3）閉会式　令和８年９月２７日（日）16 時 00 分　表彰式

6　会　　場
（1）全　日　程　博多の森弓道場　（福岡県福岡市博多区東平尾公園１－１）
（2）選手控場所　博多の森テニス場センターコートデッキ下駐車場（全面）
　　ＣＣコートエントランスホール内
　　（※遠的射場については補助役員担当校の控え場所）

7　競技種目　　競技の種目、種別、種類及び規格は、次のとおりとする。
（1）種目：近的競技
（2）種別：男子の部・女子の部
（3）種類：団体競技・個人競技
（4）標的：木枠（または適当な材料）直径 36cm の霞的・直径 24cm の星的

8　競技日程

種類	月　日（曜日）	時間	競技内容	
競技日程	９月２６日（土）	9:00 ～	公式練習	立射
		13:00 ～	開会式	
		13:30 ～ 16:30	予選（１立目）	立射
	９月２７日（日）	9:30 ～ 12:30	予選（２立目）	
		13:00 ～ 14:30	決勝（３立目）	立射
		14:50 ～ 16:00	順位決定戦	立射
		16:00 ～	閉会式・表彰式	

※予定時間のため若干変更する場合もある。進行状況に注意すること。

9　競技規則　　(公財)全国高等学校体育連盟弓道競技規則(必携)「2026 発行」及び大会要項による。

10　競技方法
（1）団体競技及び個人競技は、男女とも次のとおり行う。
　ア　団体競技
　　(ｱ) 予選は、各自４射２立計４０射を行い、的中数上位８チーム（同中を含む）を予選通過とする。
　　(ｲ) 決勝は、各自４射１立計２０射を行い、予選を含めた６０射の総的中数で順位を決定する。同中の場合は各自１射計５射の競射を行い、総的中数の多い方を上位とする。１回の競射で順位が決まらない場合は、順位が決定するまで繰り返す。
　イ　個人競技
　　(ｱ) 予選は、各自４射２立計８射行い、男子８射５中以上、女子８射４中以上の的中をもって通過とする。なお、団体競技出場者で個人権を取得している選手については、団体競技の的中を個人競技の的中とする。
　　(ｲ) 個人競技については、射場ごとの順次打ち起こしとする。前の射手より先に射離した矢についてはその矢に限り無効とする。

(ｳ) 決勝は、各自４射を行う。予選・決勝の１２射の総的中数によって順位を決定する。決勝で順位が決まらない場合、優勝決定は射詰めによる順位決定とする。射詰については射詰５本目より八寸的を用いる。２位以下は遠近法による。

（２）競技時間の制限

ア　競技時間は、本座における進行係の「始め」の合図によって始まり、最後の射手の、最後の離れで終わる。

イ　団体競技において、１団体の行射制限時間は７分とする。

ウ　弦切れ、その他の事故が生じても時間の延長はしない。ただし、審判委員の指示により競技が停止された時間は制限時間から除外する。

エ　個人競技および順位決定戦等の制限時間のない場合は、「弦音打起し」の競技の間合いを原則とする。

（３）招集

ア　第３控において、選手の確認、ゼッケンおよび服装・弓具の点検をする。

イ　ゼッケンのない選手については「その立」に限り失権とする。そのために、団体に欠員が生じても欠員のまま団体とする。なお、個人戦に限り学校名が分かるゼッケンで構わない。

（４）選手の交代

ア　団体選手交代は、登録選手以外認めない。

イ　先発メンバーは登録順に５名とし、選手の交代は監督会議（１日目）までに２回、予選開始後で３回とする。

ウ　一人の交代を１回と数える。

エ　選手交代届は所定の用紙に記入し、監督または引率責任者が本部に届け出ること。

オ　交代をした後、選手に事故が生じて欠場する場合は、欠員のまま団体とする。

カ　個人競技の選手変更は認めない。

11　引率・監督について

（１）引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は、校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」（地方公務員法第 22 条の 2 に示された者）も可とする。

（２）監督・コーチは校長が認める指導者とし、それが外部講師の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険）に必ず加入することを条件とする。

12　参加資格

（１）選手は、学校教育法第１条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。但し、休学中、留学中の生徒を除く。

（２）選手は、福岡県高等学校体育連盟加盟校の生徒で、全国弓道競技専門部に登録し、本開催要項により参加資格を得た者。

（３）全日本弓道連盟に登録された者であること。

（４）年令は、２００８年（平成２０年）４月２日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技２回までとし、同一学年での出場は１回限りとする。

（５）チームの編成は、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒の混成を認めない。

（６）複数校合同チームの大会参加は認めない。但し、統廃合の対象となる学校については、統廃合完了前の２年間に限り当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。

（７）転校・転籍後６か月未満の者の参加は認めない。（外国人留学生もこれに準ずる）但し、一家転住等のやむを得ない事由による場合は、福岡県高体連弓道専門部で調査し高体連会長の承認があれば、この限りでない。

（８）出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。

（９）参加資格の特例

ア　上記（１）（２）に定める生徒以外（３）～（８）の大会参加資格を満たし、かつ本連盟が承認した生徒については、別途に定める規定に従い大会参加を認める。

イ　上記（４）については、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技２回限りとする。

ウ　学年の区分を設けてある課程に在籍する生徒の出場は２学年までとする。

13　参加制限

（１）各ブロックからの出場人員は下記の基準による。

ア　個人競技

(ｱ) 男子は各ブロック予選で８射５中以上の成績を収めた者。

(ｲ) 女子は各ブロック予選で８射４中以上の成績を収めた者。

イ　団体競技

(ｱ) １校から男子１チーム、女子１チーム以内とする。

(ｲ) 団体競技は　中部５校、南部４校、北部４校、筑豊３校までとする。

（２）個人競技の編成は、監督１名、選手１名の計２名とする。

（３）団体競技のチーム編成は、監督１名、選手５名、補欠２名の計８名とする。

14　参加申込

※個人情報の取り扱いに関して

大会に際して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはない。（詳しくは下記 15 を参照）

（１）申込書類

参加申込書１部（原本【公印を押したもの】）とその写し２部

※県大会１日目に県大会会場で、所属するブロック専門委員長に手渡しで渡すこと。

（２）申込方法

ア　各参加校は、以下（４）に示すホームページから参加申込の様式をダウンロードし、参加申込書を３部（原本１部＋写し２部）作成すること。

イ　各ブロック専門委員長は、ブロック予選において参加校・参加者をとりまとめ、別紙申込書に必要事項を記入し下記の申込先まで申し込みを行うこと。

（３）申込先

ア　申込先　筑豊ブロック専門委員長

嘉穂高校　柴田　憲一　教諭（E-mail　shibata@fku.ed.jp）

イ　申込期限　令和８年　９月２２日（火）正午まで

（４）「福岡県高等学校体育連盟」ホームページ

http://www.fukuoka-koutairen.com/

15　立順

ア　男子団体、女子団体、男子個人、女子個人の順に行う。

イ　地区ごとの立順は「中部、南部、北部、筑豊」の順とし、団体競技については各ブロック上位校より順に決定する。【例：中部１位⇒南部１位⇒北部１位⇒筑豊１位⇒中部２位⇒…】

※個人競技については各ブロック内での申込順とする。

16　個人情報および肖像権に関わる取扱について

参加申し込みに記載されている生徒個人情報については、参加申込書の提出により、申込書記載の生徒の個人情報は、下記利用目的に使用する旨の承諾を得たものとする。

（１）利用目的等・大会競技プログラムまたは福岡県高体連ホームページへの記載

（２）参加資格の確認（年齢及び転校等）

（３）競技成績については学校名・氏名・成績（記録）のみを公表することとする。

（４）福岡県高等学校体育連盟に認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放映及びインターネットにより配信されることがあります。

17　参加負担金

（１）参加料納入

団体競技　１チーム　５，０００円

個人競技　１人　　５００円

（２）納入方法

参加負担金は後日、各高校に請求する。県大会当日の持参は必要ない。

18　表彰

団体・個人ともに上位３位まで表彰する。

19　取得制限

（１）男女とも団体１位～３位校、個人１位～５位は第３４回全九州高等学校弓道新人選手権大会（１０月３１日（土）～１１月１日（日）鹿児島県鹿児島市）に出場することができる。
　なお、全九州新人大会の参加負担金は弓道専門部が一括して徴収し、振り込む（県大会終了後で改めて案内する）。

（２）男女とも団体１・２位校は、第４回西日本高等学校弓道大会（３月１９日（金）～２１日（日）島根県）に出場することができる。また、１・２位校が出場を辞退した場合は、上位８校の中から成績順に推薦枠を譲渡する。

20　諸会議

会　議　名	日　　時	会　　場	出席者
専門委員長会議	９月２６日（土） 12:00～12:30 ９月２７日（日） 8:30～9:00	博多の森　弓道場 会議室	専門委員長・総務委員 各ブロック専門委員長
監督会議	９月２６日（土） 12:30～12:50 ９月２７日（日） 9:00～9:20	博多の森　弓道場 近的射場	出場校監督 引率責任者 専門委員長・総務委員 各ブロック専門委員長

21　宿泊

宿泊の斡旋については行わない。

22　公式練習

（１）日時

９月２６日（土）下記の時間帯以外での公開練習は実施しない。
※入れ替えの時間を含む。

時間	ブロック
9:00～	中部ブロック
10:00～	南部ブロック
10:45～	筑豊ブロック
11:15～	北部ブロック

（２）規定

ア　生徒のみでの練習は認めない。監督または引率責任者が立ち会うこと。
イ　矢取りに関しては各ブロックで行うこと。（公開練習での補助役員はつかない。）
ウ　的は１２的立てる（競技開始後は、１番と７番の的を外す）。
エ　公開練習は各選手４矢１立のみとする。ただし、団体競技に参加する個人権取得者は、個人としての公開練習は行えない。
オ　公開練習においてもゼッケンを必ず着用すること。（校名判断のため）
カ　公開練習中は控えでの私語は慎むこと。
キ　公開練習は団体、個人の順で行い、その順番は各ブロック専門委員長が事前に調整を行う。

（３）準備・片付け

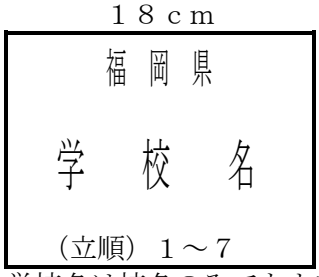
ア　準備については、専門部が行う。
イ　片付け・競技準備については会場設営担当校（補助役員）にて行う。

23　連絡事項

（１）競技中の疾病、障害等の応急措置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。
（２）出場選手は、四つ矢の他に替矢を持参すること。
（３）監督または引率責任者は監督会議に必ず参加すること。
（４）開会式については、団体競技出場校は男女各２名参加すること。個人競技出場選手については全員参加すること。（５分前には近的射場内に集合しておくこと。）
（５）選手の服装は、以下の通り各学校で統一する事。

ア　弓道衣、袴、足袋は単色無地とする。ただし、各学校で統一する事。
イ　弓道衣のアンダーシャツは白・黒・紺の単色無地とし、それ以外の色を使用する場合は各学校で統一する事。襟付き・ハイネックは不可とする。

ウ　学校指定の制服（下衣）、白シャツ（無地）、白靴下を着用してもよい。
（6）リボン、その他の装身具類は禁止する。
（7）鉢巻を使用する場合は無地とし（文字を入れる場合は結び目より先とする）、長さは肩までとする。
（8）選手は、次の要領でゼッケンを作成し、右腰前につけること。
ア　規格及び記載例



学校名は校名のみでもよい。

イ　個人出場者は学校名が分かればよい。
ウ　布地は白色，県名・学校名は黒色。男子の選手番号は黒色で，女子は赤色で記入する。
（9）ゼッケンを着けていない選手は入場を認めない。
（10）弓具に照準、目印をつけてはならない。
矢摺籐の長さは６ｃｍ以上、また籐が開いていれば詰めさせる。
替弦のない選手が弦切した場合は残りの矢は失権とし、残った矢を持って退場させる。（替弓が可能なら続行させる。尚、同一チーム内の替弓は認めない。）
（11）引率責任者のいない学校は出場を認めない。
（引率責任者には役員業務（２日間）を依頼する。）
（12）この大会は令和９年度国民スポーツ大会予選を兼ねる。
（13）上位大会出場校に棄権が生じた際の繰り上げ出場校決定のため団体８位まで順位を決める。
（14）会場内外にゴミを残さないようにすること。
（15）センターコートエントランスホールについては、17 時以降施錠をする。
（16）応援は、「よし」の発声もしくは拍手にとどめる。

24　問い合わせ先

〒836-8577 福岡県大牟田市上官町 4-77　（Tel：0944-53-3036 Fax：0944-52-1832）
福岡県立三池工業高等学校　教諭　中野　祐貴